



校長 藤山 昌生

翔
未来へ

1年生が秋に植えたチューリップの芽が土を押し上げて顔を出してきました。それぞれの芽はとても柔らかなのに、その力強さを感じます。一月往ぬる(行く)、二月逃げる、三月去ると言われますが、学校生活においてまとめの時期でもある3学期は、何かとあわただしく、あっという間に時が過ぎ去っていく感があります。現在は、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の状況も落ち着きを見せ、今週、今年度最後の参観懇談を実施しています。特に6年生では、「卒業コンサート」として音楽の時間に練習を重ねてきた合奏や、昨年度の音楽会ではできなかった合唱を発表します。

この時期に6年生の合唱練習を聞くと、卒業式が近づいてきたなと実感します。この3年もの間、新型コロナウイルス感染症の影響で教育活動は大きな制約を受けていたために、残念ながら歌声から季節を感じる事が閉ざされていました。6年生は、卒業コンサートを一区切りに、これから卒業式に向けて日々練習を進めていきます。

卒業式を実施するにあたり、まだ、完全に制約がなくなったわけではありませんが、今年度の卒業式については、マスクの取り扱いや保護者に参列人数等については大きく緩和されることとなりました。思い出深い大切な卒業式にするために、これから全校で準備を進めていきます。6年生も、この短期間ではありますが、在校生にいろいろなことを伝え残してほしいと思います。

<今年度の学校評価について>

本校として1年間の教育活動を振り返り、次年度に活かしていくため、毎年学校評価を実施しています。1月には、保護者のみなさまに学校アンケートにご協力をいただきました。お忙しい中、短期間でご協力をいただき本当にありがとうございました。また、子どもたちにも学校アンケートを実施しています。アンケートの集約結果については裏面に掲載していますのでご覧ください。あわせて、本校教職員も教育活動を様々な観点に分類し、その取り組み一つひとつが適切であったか、成果と課題について自己評価を行いました。

これらの学校評価の評価結果につきましては、地域及び保護者の代表の方々に組織している学校運営協議会(コミュニティ・スクール)におきまして、3月16日にご協議いただくこととしています。協議会にてご議論していただきました内容につきましては、後日、学校だよりでお知らせをいたします。